

平成 16 年(2004) 4 月—平成 17 年(2005) 3 月

- 4 月 2 日 ～ 4 月 25 日 郷土館ギャラリー「濱田正二素描展」
5 月 1 日 ～ 5 月 23 日 「昔のくらしと道具展」
5 月 28 日～ 6 月 23 日 「小柴昌俊先生ノーベル賞受賞記念—東京大学総合研究博物館巡回展示 ニュートリノ展」
7 月 2 日 ～ 7 月 19 日 「婦人の友表紙原画百選—春から夏へ 秋から冬へ 四季彩々展」
7 月 24 日 ～ 8 月 18 日 「鈴木正治展」
8 月 24 日～ 9 月 12 日 「北東北三県共同展—描かれた北東北」
9 月 18 日～ 10 月 17 日 「京都 清水寺展」
10 月 23 日～11 月 14 日 「景德鎮千年の歴史展」
11 月 19 日～12 月 12 日 郷土館ギャラリー「七尾謙次郎展」
12 月 17 日～ 1 月 18 日 「木村秀政生誕百年記念—青森と飛行機」
1 月 28 日～ 1 月 30 日 「第 13 回日専連青森全国児童版画コンクール青森展」 主催：日専連青森店会
2 月 11 日～ 3 月 13 日 「あおもり新発見 2004 展」

平成 17 年(2005) 4 月—平成 18 年(2006) 3 月

- 4 月 1 日～ 4 月 17 日 「佐野ぬい展—青のトポス」
4 月 23 日～ 5 月 22 日 「風の画家 中島潔の世界—童画でつづる 30 年史」
5 月 27 日～ 7 月 10 日 美術ギャラリー「加藤武夫展—輝く色彩の版画家」
7 月 26 日～ 9 月 4 日 「辺境からのまなざし—笹森儀助展」
9 月 17 日～10 月 16 日 「文豪が愛した美の世界—川端康成コレクション展」
10 月 1 日 ～10 月 31 日 「世界自然遺産 白神山地の自然」
10 月 22 日～11 月 27 日 「東奥美術展の画家たち—青森県昭和前半期の美術」
12 月 9 日～ 1 月 18 日 「十腰内文化展—三内丸山と亀ヶ岡の間の独特な縄文文」
1 月 27 日～1 月 29 日 「第 14 回日専連全国児童版画コンクール青森展」 主催：日専連青森店会
2 月 4 日 ～ 2 月 26 日 「あおもり新発見 2005 展」
3 月 3 日 ～ 3 月 26 日 「ふるさとに集う 青森県の美術家新作展」

平成 18 年(2006) 4 月—平成 19 年(2007) 3 月

- 4 月 7 日 ～4 月 16 日 「伊藤正規 紺綬褒章受章記念展」
4 月 21 日～5 月 14 日 「東京大学総合博物館巡回展 石の記憶—ヒロシマ・ナガサキ」
5 月 20 日～6 月 11 日 「北斎と広重展」
6 月 17 日～7 月 2 日 「世界遺産高句麗壁画古墳展」
7 月 14 日～8 月 27 日 「おがわら湖の自然史」

9月15日～11月5日 「わが家にテレビがやってきたー昭和30年代以降のくらしの変遷をたどる」

11月11日～12月10日 「佐藤清治展」

12月19日～1月21日 「郷土玩具展ー北彰介コレクションを中心に」

1月26日～1月28日 「第15回日専連全国児童版画コンクール青森展」 主催：日専連青森店会

2月9日～3月18日 「あおもり新発見2006展」

平成19年(2007)4月ー平成20年(2008)3月

3月24日～4月22日 「北京故宫博物院展」

4月28日～5月27日 「オモチャ博覧会ー安田勝寿コレクション展」

6月9日～7月16日 「北東北自然史博物館ー大地と生きもののふしぎ旅行」

7月28日～8月7日 「八甲田山展ー郷土を愛する県内出身作家57人による」

8月15日～9月17日 「よみがえれ北前船ー北国の海運と船展」

9月22日～10月21日 「花の肖像画ー青森県の植物画展」

10月27日～11月25日 「時代を歩いた放浪画家の生涯 山下清展」

12月1日～1月20日 「生誕1年記念 淡谷のり子展」

1月23日～1月25日 「日専連全国児童版画コンクール青森展」 主催：日専連青森店会

3月20日～4月20日 「2008 あおもり新発見」

平成20年(2008)4月ー平成21年(2009)3月

4月26日～5月6日 特別企画「国絵図特別公開」

5月16日～7月6日 「青函連絡船なつかしの百年ー海峡を渡る船と人」

7月25日～9月28日 「団塊世代の青春時代ーよみがえる昭和4年代」

10月11日～11月16日 「ジュディ・オング 倩玉 木版画の世界」

11月22日～1月18日 「蓑虫山人と青森ー放浪の画家が描いた明治の青森」

1月23日～1月25日 「日専連全国児童版画コンクール青森店会」 主催：日専連青森店会

3月3日～ 「サムライ・チャンバラ博覧会ー武の実像と虚像」

平成21年(2009)4月ー平成22年(2010)3月

～5月6日 企画展「サムライ・チャンバラ博覧会～武の実像と虚像」

こどもの頃、誰もがあこがれたサムライ。弘前藩・八戸藩の武士たちが用いた武器を多数展示。古武術の技や秘伝を紹介する体験会あり。

5月9日～5月19日 特別企画「新発見 津軽領の元禄国絵図」

新発見の「津軽領元禄国絵図写」（弘前大学図書館蔵）は、国絵図研究を前進させる貴重資料で、今回が初公開。さらに、昨年公開で好評の正保2年（1645）「陸奥国津軽郡之絵図」を、要望に応えふたたび公開。

5月23日～6月28日 東奥日報社主催「片岡鶴太郎展」

時に演技者として、時にボクサーとして、多才ぶりを発揮してきた鶴太郎。行く先々で取る絵筆には、彼の人生が込められている。その珠玉の作品群を一堂に公開。トークショー・サイン会など、お楽しみ企画もあり。

7月7日～8月16日 企画展「花田陽悟展」

青森市に在住し、青森県の風土を多色刷木版画で表現してきた花田陽悟。このたび当館に一括で寄贈された作品の数々を一挙公開。

8月28日～1月12日 特別展「妖怪展～神・もののけ・祈り」

形の神々、モノノケ、自然現象など「未知の異世界」への怖れは、さまざまなカタチを生み出した。作られた人魚、描かれた幽霊、珍しい儀礼やまじないを紹介し、先人の心のありようをさぐる。

10月2日～11月23日 企画展「北海道・北東北縄文巡回展」

世界遺産登録をめざして暫定リストに掲載された「北海道・北東北の縄文遺跡群」。その価値や魅力を余すところなく伝える、考古学ファン必見の大型企画。

12月4日～1月17日 企画展「野山を彩る北の植物たち～一戸清志写真展」

青森県に生育する植物とその生育環境を、一戸氏が撮影した写真で紹介。

1月22日～1月24日 「日専連全国児童版画コンクール青森展」

3月～4月 企画展「館蔵資料展」

平成21年度に収集した資料を中心に紹介。

平成22年(2010)4月～平成23年(2011)3月

～4月4日 企画展「新収蔵2009」

平成21年度の寄贈資料を中心に、当館の資料収集活動や調査研究活動の成果を、幅広く紹介。

4月16日～5月16日 常田健生誕100年委員会・常田健土蔵のアトリエ美術館・東奥日報社・RAB青森放送主催「生誕100年記念 津軽に生きた大地の画家 常田健」

青森市浪岡に生まれ「本物の百姓を描きたい」と願い続けた常田健。農民に向けるまなざしはどこまでも温かい。力強い筆づかいの中に生き続ける精神は、現代人への貴重な語りかけである。

5月21日～7月4日 A T V青森テレビ・郷土館共催「サントリー美術館名品展」

サントリー美術館が所蔵する多くのコレクションの中から、日本画・蒔絵・陶芸・工芸・服飾などの優品を厳選紹介。

7月14日～7月27日 企画展「對馬隆『野鳥の森』」

長年にわたり野鳥を観察し、撮影し続けた對馬隆氏。その美しく、資料的にも貴重な写真の数々を厳選公開。

8月3日～9月5日 文化庁巡回展「発掘された日本列島2010」

日本各地で行われている約90件の発掘調査の成果から、近年、特に注目されている遺跡の出土品を集め、速報公開。北東北三県共同展実行委員会主催

9月17日～1月24日 「境界に生きた人々～遺物でたどる北東北のあゆみ」

北海道を中心とした「北の文化」と古代国家を中心とした「中の文化」が重なりあい、交じりあってきた北東北。異文化の境界に生きた人々の豊かな暮らしを、豊富な出土遺物と歴史資料でたどる大型企画。

1月3日～12月5日 東奥日報社・郷土館共催「生誕250年 北斎 富士を描く」

幕末の江戸にあって、希有の画才を発揮し続けた葛飾北斎。晩年、富士山を主要なモチーフに選び「富嶽三十六景」などの傑作を生んだ。ヨーロッパ印象派絵画にも多大な影響を与えた北斎の、珠玉作を紹介。

12月11日～2月20日 特別展「青森のわざ～伝統工芸～」

2月26日～3月18日 企画展「新収蔵2010」

平成23年(2011)4月～平成24年(2012)3月

4月22日～5月15日 企画展 寄贈記念「野澤如洋展」

弘前市に生まれ、京都や東京で精力的に画業を展開した野澤如洋。戸倉嘉明氏旧蔵の7点に及ぶ作品を一挙公開。日本画家・如洋の本質に迫る。

5月2日～7月3日 青森テレビ・郷土館共催 写真展「土門拳の昭和」

リアリズムを追求し、『筑豊のこどもたち』『風貌』や不朽の名作『古寺巡礼』など傑作写真集で知られる土門拳。生誕10年を経た記念展として、昭和10～54年までの45年間の作品から約3点を厳選。撮影当時のヴィンテージプリントも公開。

7月15日～9月11日 特別展 地域総合展「十和田湖・八甲田山」

東北新幹線の全通後、初めて迎える観光シーズン。多くの人を訪れる十和田湖や八甲田山の豊かな自然・歴史・民俗・産業を余すところなく紹介。今はじまる、魅力再発見の旅。

9月17日～1月16日 東奥日報社・郷土館共催 「八代亜紀 アートの世界展」

歌手・八代亜紀は、油彩画家としても評価が高い。フランス画壇の登竜門「ル・サロン展」に8年連続入選しサロンの永久会員に。1998年の入選作「思い出」など初期作から最新作までを厳選。

1月28日～11月27日 企画展 「今純三と考現学展」

弘前市生まれの今純三は、兄の今和次郎が創始した「考現学」の手法を用いて、青森に

生きる人々や風景をみごとに描いた。純三の人と作品を通して「考現学」のルーツを探る。
12月9日～1月29日 特別展 青森県博物館ロード「青い森の宝箱 -県内博物館名品大
集合!!-」

青森県の優れた文化遺産や郷土の魅力を情報発信するプロジェクト。県内博物館等施
設の協力で選定された名品約10点が一堂に。

平成24年(2012)4月～平成25年(2013)3月

- 4月21日～5月27日 「あふれる感情 工藤静香展」
- 6月8日～7月16日 「共催展 京都・清水三年坂美術館展」
- 7月25日～8月26日 特別展「ぼくらのがっこう」
- 9月1日～9月30日 指定管理者自主事業特別展「手塚治虫展」
- 10月1日～11月7日 企画展「寄贈記念 成田彦栄コレクション」
- 11月16日～12月16日 企画展「生誕13年記念 植物学者 郡場寛」
- 12月22日～1月27日 企画展「さしこー田中忠三郎着物コレクションー」
- 2月15日～2月17日 指定管理者企画展「第2回東奥児童書道展」
- 2月23日～4月14日 企画展「新収蔵コレクション」

平成25年(2013)4月～平成26年(2014)3月

- 4月27日～5月6日 特別企画展「青森県立郷土館絵図セレクト展」
- 5月11日～5月26日 指定管理者自主事業企画展「青森県写真連盟50周年プレ写真展」
- 6月7日～7月15日 企画展「山内博尚コレクション 美しき蝶の世界展」
- 7月24日～9月1日 企画展「吉田初三郎鳥瞰図展 大正・昭和に描かれた観光パノラ
マ絵図」
- 9月13日～11月10日 特別展 「郷土館開館40周年記念平尾魯仙～青森のダ・ヴィン
チ～」
- 11月16日～1月13日 指定管理者自主事業特別展 「日本のアニメーション美術の創造
者山本二三展」
- 1月23日～25日 県立郷土館主催外特別展「第23回日専連全国児童版画コンク
ール青森地区選」
- 2月14日～2月23日 指定管理者企画展「第3回東奥児童書道展」
- 3月1日～4月13日 企画展「新収蔵展 ふるさとかからの贈りもの」